

若さ・情熱・行動力!

酒々井町
議会議員

かねづか 金塚まなぶリポート



育てます、
酒々井の未来

発行／金塚まなぶ後援会 発行日／令和7年4月

〒285-0928 酒々井町ふじき野2-5-8 討議資料

TEL 043-497-0018 FAX 043-481-7770

E-mail kanezuka37@gmail.com

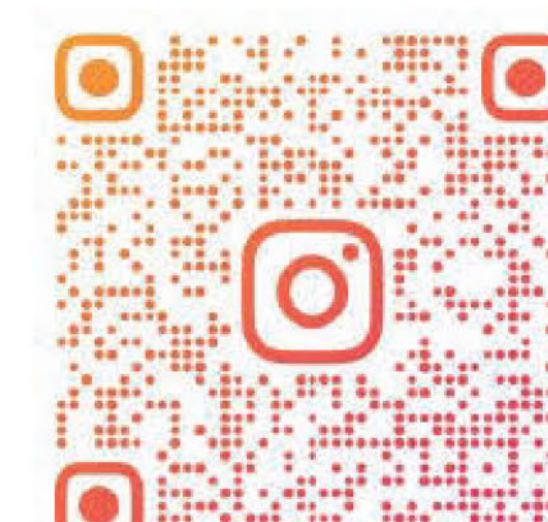
公式ホームページ <https://kanezuka.com>



公式ホームページ



Facebook



@MANABUKANEZUKA18
Instagram



— 令和7年 酒々井町議会 3月議会報告 —

令和7年度予算編成にあたり「酒々井政策研究会」として昨年11月8日に提言書を提出させていただきましたが、多くの施策に私たちの提言を取り入れていただきましたことに会派を代表して感謝を申し上げます。ありがとうございました。

「酒々井政策研究会」は、小さい会派ではありますが、町政の方向性を示し、住民の皆様の声を的確に届けることを使命とし、オピニオンリーダーとなるべく、日々活動を続けております。政治は決して一部の人々だけのものではなく、そこに暮らすすべての住民のものであり、未来を担う次の世代へと引き継いでいくべき尊い営みであります。その原点を常に胸に刻みながら、今後も責任ある活動を続けてまいります。

歴史ある酒々井町は、今を生きる私たちだけのものではありません。この町には、長い歴史の中で幾多の先人たちが田畠を耕し、産業を興し、地域の伝統と文化を守り、育んできた誇り高き歴史があります。まさにこの町は、祖先の皆様のたゆまぬ努力と献身によって築かれ、受け継がれてきた町なのです。それはまた、これから生まれてくる子どもたちのふるさとでもあります。私たちは、長い歴史の中の一瞬、一時代を預かる立場にあります。

政治に携わるということは、過去の偉大な先人たちから託された町をしっかりと守り、「少しでも豊かで幸福なまち」として、次の世代に受け継ぐ重大な責任を負っているということに他なりません。私たちは、今という時代を単なる「通過点」としてではなく、誇りと責任を持って「次の世代への橋渡し」として、政治に取り組んでいかなければなりません。

酒々井町は、明治22年の町制施行以来、135年という長い歴史を刻んできました。この長きにわたる伝統と誇りに満ちた町は、四季折々の美しい自然と、優れた都市環境が共存する、まさに先人たちが築き守ってきた貴重な財産です。この財産をいかに維持し、さらに発展させ、次の世代へと継承していく事が、今を生きる私たちに課せられた使命であると考えます。私たちは「今、何ができるのか」をしっかりとと考え、未来へ向けて具体的な行動を起こさねばなりません。政治には、単なる日々の課題解決だけではなく、



※一般質問の詳細は「金塚まなぶ公式ホームページ」で議会中継をご覧いただけます

10年後、20年後の町の未来を見据え、責任をもって取り組むという極めて重要な役割があります。そして、その未来をより良いものとするためには、現状維持にとどまるのではなく、新たな発想と行動力を持って改革を進めることができます。

子どもたちの未来のためにも、私たち責任世代の政治家が、責任をもって長期的な視点でまちづくりを進めることができます。私たちは、一時代を預かる者として、今日の判断と行動が、10年後、20年後、そして、その先の時代にどのような影響を与えるのかを常に意識しなければなりません。責任の重さを自覚しながら、課題解決に全力を注いでいく決意を改めてここにお誓い申し上げ質問いたします。

(議会の一般質問より抜粋)

● 一般質問 ●

問 安心・安全で住み良いまちづくりの推進について

金塚
まなぶ

我が国の国土は常に、地震、津波、火山の噴火、台風、大雨、大雪、土砂災害に際し、応急復旧や本格復旧においては、地元の建設業などの地域密着型の業者の方々が、昼夜を問わず作業を行い、被災地域の災害対策業務の迅速な実施に大きく貢献しています。我が町にとっても、このような地域の地元業者の災害対応力を確保していくことは、町民の安心・安全で住み良いまちづくりを推進するうえで必要不可欠です。

そこで「災害時の迅速な対応体制の強化について確認します」。現在の災害対応の枠組みにおいて、酒々井町には「酒々井町建設業災害協力会」がありますが、現状の運用と今後の拡充について検討されているか伺います。

回答 くらし安全協働課長

「酒々井町建設業災害協力会」につきましては、町内に本店・支店を置く事業者が会員となっております。町内において大規模な災害が発生した際には災害応急工事を実施していただく為に平成18年9月に大規模災害時応急工事の業務協力に関する協定を締結しております。しかしながら、協力会に加盟している事業者は減少傾向にあり、特に町内の本店事業者が年々減少しております。当町におきましても大規模災害が起きましたら、当協力会に応急工事をお願いすることから今後協力会の拡充を含め協議を進めてまいります。

金塚
まなぶ

持続可能なまちづくりに向けた官民連携の強化について伺います。災害対応や維持管理をより効果的に継続的に行うために、町と地元建設業者さんが定期的に意見交換できる場を設ける必要があると考えますが、町の考えを伺います。

回答 まちづくり課長

定期的な意見交換の場につきましては、今後地元建設業者さんと調整してまいります。

金塚
まなぶの
要望

地元の建設業などの地域密着型の業者の方々、さらには上下水道などの管工事業を担っていただいている会社さんが今の酒々井町は激減しています。このような業者さんは、大規模な災害が発生した時だけでなく日ごろからのインフラの維持・管理にとって大変重要な存在でございます。普段は目立たない、まさに縁の下の力持ちでございます。是非このような業者の方たちを「まちづくりの一環として、守っていく」ことも大切であると考えます。「まちづくりはひとづくり」でございます。

地元業者さんと「地域と一緒に創るまちづくり」を是非お願いたします。

裏面へ続く ↗

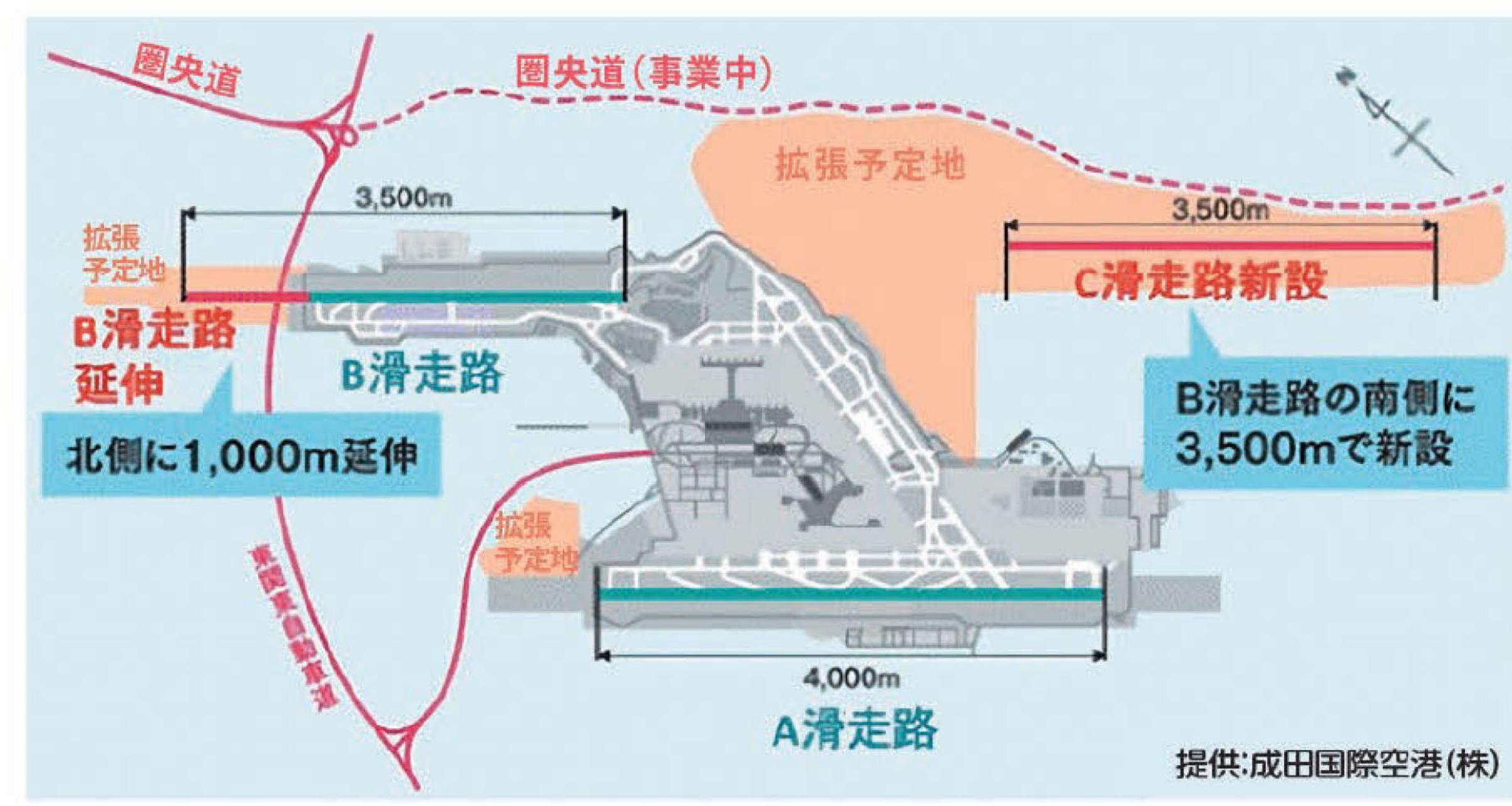
問 活力と賑わいのあるまちづくりの推進について

金塚
まなぶ

成田空港の更なる機能強化に向けて周辺自治体では活発に企業誘致活動などが行われています。C滑走路の整備及びB滑走路の延伸により年間発着回数が50万回になることで、空港内従業員数も現在の4万にから7万人へ、貨物取扱量も200万トンから300万トンへ、旅客数も4000万人から7500万人になるとされ、周辺地域でも雇用の創出、輸出入の拡大、企業進出と既存企業の成長、観光客の増加などが空港周辺地域で期待されているが、町では他の自治体との差別化を図るために独自の施策や戦略はどのように考えているのか伺う。

回答 企画財政課長

当町の特色であります町内4つの駅を有していること、また、酒々井インターチェンジを有していることという強みを活かしたまちづくりにさらに努めて参ります。



参考: ちば県民だより(令和6年2月号)

金塚
まなぶ

企業誘致に関して、町の強みである4つの駅や高速道路インターチェンジをどのようにアピールし、企業に選ばれるまちづくりを進めていくのかが、重要な戦略になると思いますが、企業誘致や雇用創出に関する目標数値(誘致企業数、雇用創出数など)をどのように設定し、進捗管理をしていくのか伺います。

回答 経済環境課長

第6次総合計画後期基本計画では、総合計画で位置付けられた産業系ゾーンの企業誘致の可能性や進捗を踏まえて指標化を検討して参ります。

金塚 要望
まなぶの

「活力と賑わいのあるまちづくりを推進する」ためには、やはり若い世代が増えることが大切であり、循環型のまちづくりが必要でございます。そのためには、「職住近接」で住む場所と働く場所が近いことが重要でございます。4駅とインターを活かしたまちづくりを実現しようではありませんか!

是非、近隣市町に遅れることなく取り組んでいただきたいと思います。

私も若い職員さんたちと意見交換させていただきながら、町民のみなさんと一緒に創るまちづくりを提案してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



“まちづくりは、ひとづくり”ともに創ろう、酒々井の未来！

酒々井の未来がもっと素敵なものになるように、金塚まなぶはこれからも真剣に向き合い続けます！

1 子どもたちの成長を楽しみながら暮らせる まちづくり

子育て支援・教育環境の整備

未来を担う子どもたちの存在は地域の大きな財産です。子を産み育てる環境と共に、誰もが笑顔で暮らせるまちづくりを積極的に推進します。



- 家族で楽しみ遊べる公園の整備
- 通学路の安全点検とユニバーサル化の充実
- 町立小中学校の改修と体育館へのエアコン設置
- 「酒々井学」での郷土愛と国際交流による国際感覚の醸成推進
- 給食費無償化の推進

3 地域経済の振興・発展と賑わいのある まちづくり

企業誘致・産業振興・地域経済の活性化

酒々井インターチェンジを活用した企業誘致を推進し職住近接の環境整備を充実し、町内の4駅を有効活用した更なる、まちの賑わいと利便性向上を目指します。



- 県と連携し酒々井インターチェンジ周辺の産業地整備を促進
- 南酒々井駅・宗吾参道駅周辺の環境整備
- 地区計画を活用しての企業誘致を促進
- 循環型コミュニティバス(グリスロ等)の整備促進
- 地域ブランドや町の推奨品などの宣伝及び創出を支援
- 空港需要拡大を活かした地域の発展を推進

2 町民誰もが健やかに暮らせる まちづくり

医療・福祉サービスの充実

住み慣れた場所で誰もが安心して医療・介護・福祉サービスが受けられるまちづくりを推進します。



- 町内だけでなく地域の医療ネットワークを拡充
- 県と連携し、医師・看護師の確保を推進
- 幅広い介護人材の確保と介護ロボットなど最新技術の導入を促進
- 特別養護老人ホームなどの施設整備の促進
- 重度障害者(児)や、医療的ケア児等への支援を拡充

4 安心・安全で住み続けたくなる まちづくり

防犯対策・交通安全対策

防犯対策や交通安全対策で町民が安心して暮らせるまちづくりで「体感治安」を取り戻します。また、大雨や地震など大規模災害や自然災害から町民の生命と財産を守る「危機管理のできるまちづくり」を目指します。



- 防犯カメラ・防犯街灯の設置・増設
- 中川調節地整備事業の推進
- 通学路の安全確保
- 県道宗吾酒々井線の歩道整備の連携協力
- 墨入口交差点改良の連携協力
- 緊急通報措置の拡充でお年寄りの安心を守ります



「住みたい町」から「住んでいてよかった町」へ。住み続けたいまち、酒々井と一緒に作りましょう！

金塚
まなぶ
略歴

1992年 3月 渋谷教育学園幕張高等学校 卒業
1994年 3月 YMCA海洋科学専門学校 卒業
1994年 4月 民間サルベージ(潜水調査)会社 入社
1998年 4月 24歳で明海大学(不動産学部)に進学
2000年 5月 大学在学中に「オフィス愛」を設立し代表となる
7月 佐倉市に「愛ペット園」を開園
2004年 3月 明海大学大学院(不動産学研究科)修士課程修了
2007年 7月 参議院議員椎名一保秘書となる
2011年 4月 酒々井町議会議員当選
2015年 4月 千葉県議会議員(印旛郡選挙区)に立候補するも惜敗
2019年 4月 酒々井町議会議員 2期目当選
2021年11月 衆議院議員 松本尚 秘書となる
2023年 4月 酒々井町議会議員 3期目当選

酒々井町議会・審議会関係

●酒々井町議会会派
「酒々井政策研究会」会長
●議会運営委員会委員長
●議会改革特別委員会委員長
●議会だより編集特別委員会委員
●佐倉市四街道市酒々井町葬祭組合
議会議員
●決算審査特別委員会委員
●酒々井町都市計画審議会委員
●酒々井町隣保館運営委員会委員

所属団体
経歴

●元酒々井町立大室台小学校PTA会長
●元酒々井町PTA連絡協議会 会長
●元印旛郡市PTA連絡協議会 理事
●元酒々井町社会福祉協議会 評議委員
●元私立はほたん幼稚園 父母会長
●元千葉県PTA研究大会 実行委員
●元酒々井町立大室台小学校 学校評議員
●元酒々井町商工会青年部 副部長
●元一般社団法人倫理研究所 成田市倫理法人会 会長
●元一般社団法人成田法人会青年部会 幹事
平成26年度から「租税教室」担当
●一般社団法人成田法人会 理事

●一般社団法人成田法人会 酒々井支部 幹事
●酒々井町商工会 理事
●公益社団法人日本青年会議所
グローバルリーダー育成塾
(第1期)卒業(塾頭:櫻井よしこ)
●公益財団法人国家基本問題研究所 会員
●日本会議地方議員連盟 会員
●千葉県中小企業家同友会 会員
●順天堂大学 J友会(駅伝競走後援会)会員
●酒々井町大相撲を愛する会 会員
●千葉県地方議員連絡協議会 会員
●酒々井町自衛隊協力会 会員